ちょうふの自然だより

2010.4.1 vol. 100

ちょうふ環境市民会議　info@chofu-kankyo-shimin.org　発行部数：1000 部

調布の春は国分寺崖線から

4 月初め、 芽吹きから葉へと変化する頃の深大寺自然広場。

小川として整備中の深大寺敷地内湧水。 セリ、 そしてワサビらしき葉も見える。

野草園北のイヌザクラのつぼみ。真っ白なブラシ状の花が咲きます。

上記 4 点はカニ山東樹林。 左からウグイスカグラ・明るい草むらにはクサイチゴ・南斜面下のクサボケの花の中で懸命に花粉を食べるルリマルノミハムシ・ゴンズイの芽吹き (秋には真っ赤な実から黒い種が顔を出す)。

上は若葉の森のヒサカキ。 この時期雑木林に入ると必ず不思議な香りが漂う。 犯人はヒサカキです。

左上は若葉町 1 丁目の崖線を利用した自然のお庭。「森のテラス」として一般公開されています。
可愛い看板が目印。

入間樹林のコブシ。 コブシは大木になるので雑木林のシンボルツリーとして欠かせない。

◆ホームページにも掲載◆　http://chofu-kankyo-shimin.org/　ちょうふ環境市民会議→自然だより で御覧になれます。

花の履歴書 ②

シュンラン（春蘭）

Cymbidium virescens Lindl. ラン科

近年、生物の生息環境悪化が、多くの種を絶滅させ、またその危機にある。気になるのは身近な、ありふれた動植物が含まれていることだ。

今まで開発を逃れてきた沼地や崖線が埋め立てや切り崩しにより、壊滅的な被害を受け、そのため湿性植物や里山の生き物の生育地が無くなってしまった。

市内にある国分寺崖線もその一つで、雑木林（二次林）の存在は崖線下部に豊かな湧水を生み、上部は乾燥した斜面を造っていた。そんな場所を選んで生育する植物の一つにシュンランがあるが、所々に残された崖線の雑木林を歩いて、僅かに生き残ったシュンランに出会うと胸をなで下ろす思いがする。

「蘭」は高貴な物の代名詞に使われ、展覧会では一番目に止まる場所に飾られているが、カトレアやシンビジュウムが我が身を誇示するばかりに、自らの花を支えきれず、支柱に寄りかかっている姿も妙なものだ。

同じシンビジュウムの仲間なのに、草むらの中でうつむきながら花を咲かせる姿は、とても高貴と言えないが、

花の咲く姿を、背を丸めた老人に見立て、「じじばば」（爺婆）と呼んだ昔の子供たちの鋭い観察力に感心させられると同時に、この慎ましい様は自然とのバランスの見事さを感じる。

こんな目立たない花も、時には晴れがましい席に顔を出すことがある。塩漬けにされた花を茶碗に浮かせ、「蘭茶」と称するのがこれだ。しかし、湯の中に浮かんだ花には誇らしげな様子はない。この花は藪陰で、両手を拡げ、大地を抱え込むようにしている姿が一番ふさわしい姿であるように思う。　（絵・文　戸部英貞）

調布の森を訪ねて

② 調布駅付近の境内林

調布駅のそばにとてもすてきな森（＝杜）がある。布田天神のお社の杜だ。天神通り（キタロウー通り）の突き当りに位置し、上布田、下布田、小島、上ケ給の四町の鎮守で、古い歴史のあるお社だ。九月の大祭には四町の御輿が旧甲州街道を練り歩く。また、毎月二十五日には「古道具市」が杜の下に立つ。杜は、アカマツ、シラカシ、ケヤキ、ヒノキ、サワラ、ホウノキ等皆高さ20m以上もある大木からなる。夏、この木立を見上げると、遠く大陸からやってきたアオバズクが営巣し、かわいいヒナがさわぐ。ところで、この杜の背後から天神通りまでは、調布北部の最大の交通軸であるのは、知っておいでであろうか。ただし車を除く人と自転車、でだ。通勤、通学、買い物に使われている。道の両側には、お社の大木が並び、清々しい新緑のころ、秋色に染まる落葉のころ、そして森の冷気ただよう真夏の夜など四季それぞれ、足早に過ぎる忙しない心も揺さぶる。ありがたく、貴重で、他に比べようもない場所、そんな場所が、そんなすてきな「人の道」が、この先危ない。全体で幅16mの幹線道路の事業が決められていて、お社西側の緑を根こそぎにしてしまうのだ。どう考えても車輌交通ネットワークの上では重要とは言いがたく、失うものは大きい。「シンボル道路」という位置づけだという。うそくさいシンボルよりも、例えば一日で五千人一万回、一年三百日で三百万回、四十年に渡り使えば一億二千万回の感動やリフレッシュの意味や価値の大切さははっきりしている。私は、この杜の「すてきさ」をつくっている事柄すべてを調べてみたい。それらに基づき「対案」を作りたい。今後皆さんに協力を求めます。（絵・文　小林冬樹）

国分寺崖線の緑を守りたい！

1 面には掲載しきれないすばらしい自然の残る国分寺崖線。外環道の建設が決まったことで若葉町 2 丁目から東つつじヶ丘 2 丁目の間に 3・4・10 号泉といわれる道路計画が具体化したのは 07 年のこと。

実篤の愛した崖線の緑と湧き水は私達市民が愛し続ける場所でもある。市が指定している保全林、「若葉町第 1 緑地」を削って得られるものは何だろうか。（NK）

◆カニ山の会

2/13 の活動は雨のため中止。ただし数名で林内を歩き回り、除伐した方がよさそうな木やシュロの見当をつけた。

3/13 日（土）
参加者 7 名
シュロ切りのため、ロープと滑車を使った安全な伐倒方法の説明を受け（小島代表から）ケヤキ上のシュロを伐採。1.5m程度に玉切りをした。

その他シュロ幼木の引き抜き、萌芽したシュロ切り。数名のメンバーがクラフト用にシュロの皮を採取、植木鉢などに活用してみることに。

引き抜いたシュロの幼木も何か活用できれば、との思いから「観葉植物としてポット苗でプレゼントしたい」という意見が出たが、「トウジュロは外来種で繁殖力があるため、何処かに捨てられると繁殖する。ポットで渡すのには抵抗がある。」という反対意見も出て結論には至らなかった。　（活動記録より）

◆入間・樹林の会

2/21（日）参加者 6 名
調布市都市整備部開発調整課とともに、調布市に 1 ヶ所残るアカマツ林（NTT研修所隣）を見に行きました。会としては 2007 年 12 月に保全に関する要望書を出しましたが、今回NTT住宅跡地の開発に伴い 4.6m 道路拡張のため、クヌギ 3 本も含め 9 本の伐採、との説明をうけました。そばに6m生活道路整備も計画されていることもあり、アカマツ保存を中心に道路拡張についての再検討を求める要望書の提出を決め、環境を守る住民の会との連名で 2 月 26 日、市に提出しました。

伐採予定のアカマツ

樹林地での保全作業は時間もなく、伐採木のマーキングとゴミ拾いをし、放置自転車は市に連絡をすることにしました。

花はツバキが目立つようになり、ウグイスの初音を聞いたほか、シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリも鳴いていました。

3/21（日）参加者 5 名
前夜の強風のため民家近くの杉が 1 本折れていたので、伐採し枝処理等をしました。民家へ倒れなかったのが不幸中の幸いです。

市に依頼した 5 本の伐採の確認をしましたが、マテバシイ広場の見通しもよくなり、シャガの広場とともに明るくなりました。樹林地入り口からは、コブシの花が目立ち、ツバキ、ハクモクレンも咲いていました。クヌギ・シデなどの芽吹きが始まり、木々の色目が柔らかくなってきています。カワセミが来たのか新たなフンも確認しました。キチョウ、モンシロチョウが飛び交い、アオゲラ、ウグイス、シジュウカラ、メジロが鳴いていました。
（安部記）

自然の脅威！　脚立に登って伐採

◆若葉の森の会

2/14（日）晴れ　参加者 13 名
講師の先生を招いて、これからの第 3 緑地のあり方の勉強会。そしてチェンソーを使った伐採方法、ロープの使い方の実習をしました。

緑地としては広くはないので、何処にどんな木が似合うのか、実生の木が大きくなってしまった、緑の質を変えていくと良い、等のアドバイスを受けました。子供達にも木を使っての遊びをするとよいのでは（ツリークライミング等）との事でした。

2/25（木）曇り　参加者 3 名
小木の伐採。落ち葉はき。

3/14（日）晴れ　参加者 10 名
上部左奥の整備。この部分は密林状態だった所で、おおまかにアオキやツル植物、小木を整備しただけでしたので、改めて清掃をしました。紫ケマンが 5 センチほどに伸びていました。その他、竹の切りだし。来年度に向けての意見交換。（住田）

若葉の森の陽だまりで話合い

◆環境モニター

3/6（土）「深大寺北町の屋敷林・畑などの自然風景を求めて」と題して 20 人以上の参加者とそぞろ歩き。

神代植物公園前から武蔵境通りの東側には植木農家がいくつもあり、初めての方達には感激の場所です。残念ながら 2005 年に歩いたときに見学したユリノキは枯れて切られていました。そぞろ歩きを何回もやっていると、その度に「前回はあったのに…」という大木が次々に姿を消しています。

植木溜めにはコウヤマキ・ヤマモモなどの大木があり、めずらしくアオゲラの声も聞こえました。その後、土屋邸でご主人から深大寺用水の話などをお聞きし、コウヤマキやキリシマツツジの古木を見せていただきました。小雨の中でしたが深大寺図書館のある北町 3 丁目のあたりのみごとな屋敷林や畑、そして禅寺丸（カキ）も見学。心に残る風景です。（K）

前回は木陰で見えなかった大通りが開発で見通せるようになってしまった

ちょうふの自然みつけた！

市民会議メンバーの ML より

2/25 調布飛行場で雲雀の鳴く声を聞きました。今年初めて聞くような気がしますが、雲雀は冬もこの辺にいるのでしょうか？（YO）

◆都内では留鳥ですが、最近は草地や畑地の減少に伴い多摩地域の減少が著しく多摩川の記録も減少している由。ちなみに調布水辺の楽校が2月11日に開催した京王線下流でのバードウォッチングでは初鳴が確認されています（AS）

3/17 武蔵境通り（深大寺北町7丁目付近）で、うぐいすの初音を聞きました。例年　聞かれますが、今年はだいぶ早いように感じます。植木畑が多く、うぐいすの里を思わせるこの辺は大事にしたいものです。（幸い昨年も頻繁に鳴いていたので、道路拡張の影響は無かったようです）（KT）

3/23 今朝、犬の散歩で、セミの抜け殻を見つけました。この時期に間違って出てくることがあるのでしょうか？
あるいは、昨年のものが木の上から落ちてきたか？（YO）

◆春に発生するセミもありますがそれにしても早すぎ、調布には棲息していません。昨年のものでしょうが種類は見ないと特定できません。（HT）

3/24 今朝、味スタ横の武蔵野の森公園でキジの鳴き声を聞きました。以前にも飛行場内の草むらで鳴き声を聞きましたが、ここに住み着いているような気がします。近くに天文台の森もあるので心配いらないのでしょうか。（YO）

◆私も 2 月に運動場のそばのブッシュでみました、立ち入り禁止の空き地が多いせいか鳥達に格好のエリアのようです。滑走路に隣接する湿地や草地には草原性の渡り鳥も訪れ上空には猛禽類のトリも出現することからバードウォッチヤーの隠れた穴場です。雉は日本の固有という事で国鳥になっていますが何故かハンターの団体である狩猟の会がハンティング用に足環をつけて放鳥している不思議な国ですね？！（AS）

カゲロウの羽化する季節 in 野川

3/27 春の身近な川のご機嫌うかがい ～桜も 3 分咲き！～

定例の野川の水生生物調査を実施しました。

いつも私たちに水生生物の専門知識を教えてくださる宮治さんから、ニンギョウトビケラの幼虫が石や砂粒で作る巣を特に詳しく教えてもらいました。観察しました。その堅牢な出来栄えに感嘆しました。

川の中に入って採集をしている時に、川面を流れていくたくさんの半透明のごみ？！と思ってよく見ると、それはカゲロウが脱皮した抜け殻でした。それが後から後から続きます。この時期がカゲロウの羽化のピークなのです。10 年間の調査で、羽化の日にぶつかったのははじめて！「自然からの贈りもの」でしょうか。体が緑色のツメナガナガレトビケラの幼虫もみつかりました。

★そこで思いがけない出会いが・・・・

何気なく川岸を見ると、1 羽のカワセミが枯れ草にとまってじっと水面を見つめていました。飛び立つ時に広げた羽のブルーが美しく、間近で見れてみんな大感激。自然の中での発見は、ひとつひとつワクワクすることばかりです。（身近な川を見守る会：江刺）

編集後記 ★初めてのカラー。市民会議メンバーになって下さった皆さんの会費や寄付金でこんなにすてきな自然だよりができました。少しでも調布の自然に関する記録になれば、と願っています。（NK）
★2001 年 7 月発行のNO.8 から市民が編集作業を担ってきた、「ちょうふの自然だより」が 100 号になりました。NO.1から読み返してみると、「調布の自然」シリーズ、ちょうふ･あちこち、ちょうふDE田んぼ日記、石っころコラム、連載「多摩川今昔」、や市民活動の記録など、原稿を寄せて下さった皆様の環境保全への熱意がいっぱいです。★91 号から用紙・印刷費もすべて市民持ちとなり隔月発行です。皆様の応援があれば、200 号まで頑張れる・・・かな？（江）

環境市民エコ活動スケジュール

カニ山の会

原則毎月第 2 土曜に深大寺自然広場東樹林の保全活動を行っています。参加希望者は直接集合場所へ。

- 4/10（土）10：00 ～ 12：00
- 5/8（土）　10：00 ～ 12：00

樹林の保全、及び春の植物調べなど

入間・樹林の会

原則毎月第 3 日曜に樹林の保全活動を行っています。参加希望者は直接入間地域センターへおいで下さい。

- 4/18（日）9：30 ～ 12：00

方形枠調査及び通路整備作業

- 5/16（日）10：00 ～ 12：00

若葉の森の会

原則毎月第 2 日曜に若葉町第 3 緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接若葉町 3 丁目第 3 緑地へ。

- 4/11（日）10：00 ～ 12：00
- 5/9（日）　10：00 ～ 12：00

4・5 月は植物観察、雑木林見学なども予定しています。

※各樹林地の保全活動は、調布市との協働でおこなっています。詳細は緑と公園課へお問合せ下さい。
TEL　０４２－４８１－７０８３

野川とハケの森の会

- 4/12（日）10：00 ～ 12：00
  野川とハケの森の会 総会
- 5/16（土）10：00 ～
  野川と多摩川散策

上記 2 つともカワセミ館集合
会員以外の方は参加費￥200
問合せ：070-5566-3437　大山

ちょうふ環境市民会議

- 4/24（日）春の雑木林観察会
- 5/1（土）春の里山観察 ＆
  お楽しみ会（花炭など）

上記 2 つとも詳細問合せはメールで
info@chofu-kankyo-shimin.org へ

市民発 ちょうふの自然だより

この「自然だより」は 2009.3.15 に設立された「ちょうふ環境市民会議」が隔月で編集発行、身近な自然情報を発信しています。自然に関する情報や写真など、いつでもお寄せ下さい。編集人も募集中！

現在、調布市環境部、市内各図書館、地域福祉センター、郷土博物館、実篤記念館、あくろす 2･3F、たづくりみんなの広場、曼珠苑さん、みさと屋さん、などに置いてあります。

発行：ちょうふ環境市民会議　連絡先：info@chofu-kankyo-shimin.org